

お客様各位

新製品発売のご案内

M1897 version 2 モデルガンシリーズ オプション
金色アルミショットシェル（6 発入り）

- ・人気の M1897 ver.2 モデルガンに対応した金属シェルが登場！
- ・アルマイト処理されているのでメンテナンスも簡単！
- ・アルミを採用したことで軽快な排莢アクションを実現！

- 重量 約 23 g (インナー・アンビル含む / 1 発あたり)
- 材質 アルミ (アルマイト処理) + 樹脂
- 付属数 6 発
- 使用火薬 7mm キャップ火薬 (別売)

現代のショットシェルは軽量のプラスチック製が主流ですが、M1897 が使用されていた当時、一般的なシェルは紙製でした。第一次世界大戦に参戦したアメリカ軍でも、兵士に支給されたトレンチガン用弾薬は市販品と同様に紙製シェルであり、湿った泥にまみれる塹壕戦ではしばしば使用不能となり、信頼性に欠けるものでした。

この問題を重く見たウィンチェスター社（レミントン社も同様）は、9 粒の散弾を一度に発射する 00 バックショットの全真鍮（ブラス）製シェルを製造します。紙製シェルが普及する以前に使われていた真鍮製シェルへの“先祖返り”ともいえる仕様でした。しかし、このシェルは休戦協定直前にフランスへ到着したため、実戦での使用例はほとんどなかったとされています。

第 2 次世界大戦においても、太平洋地域の高い湿気により紙製シェルの劣化が問題となり、代替として真鍮製シェルが再び用いられました。1945 年 3 月 29 日には、米国兵器局が真鍮製 12 ゲージ 00 バックショットシェルを「M19」として制式化し、レミントン社は「M19 ショットシェル」の大量受注を受けています。

今回、その真鍮製 00 バックショットをモチーフに、「M1897 モデルガン Version.2 金色アルミシェル」を製作いたしました。素材には軽量のアルミを採用しており、排莢時の飛びの良さに加え、床に落ちた際には金属ならではの澄んだ音をお楽しみいただけます（※強い衝撃を加えると破損の恐れがありますのでご注意ください）。また、この種の真鍮製シェルは黒色火薬時代の民間用・軍用から、第一次・第二次世界大戦期まで幅広く使用されたため、特定の時代を限定しないようリム刻印はあえて無刻印としています。

注文数

ケ

12 月 9 日メーカー出荷予定 **¥ 12,000-** (税別)**¥ 13,200-** (税込) JAN : 4 537212 012942**TANAKA WORKS**※ お手数ではございますが **12 月 1 日 (月)** までにご注文をお願いいたします。